

駅前名物を探せ!



名島橋のたもとにあるラーメン店。すり鉢に入ったみそラーメン(580円)は、40年前からの名物だ。約10枚チャーシューが載る。みそチャーシュー(800円)は、豚骨100%のスープに3種類の味噌をブレンド。野菜の旨味も溶け込むまろやかな味。

●一楽ラーメン 名島本店
福岡市東区箱崎7-4-2
☎092-651-3339
(貝塚駅より徒歩10分)



イラスト/田原ウーコ
文・写真/陣内研治

←西鉄千早駅

名島駅

西鉄貝塚線

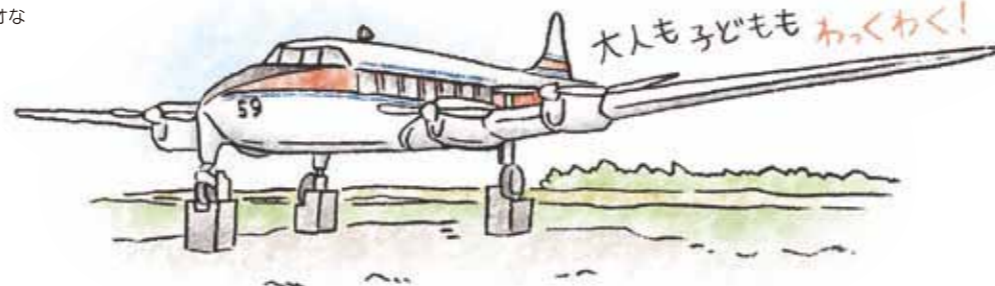


貝塚駅
(始点)



温泉水を使用した「タラソテラプール」が体感できるフィットネスジム。プールは歩行ジェットや浮遊感覚が味わえる全身気泡マッサージなど13種類。6色に照明が変化するカラーサウナや、マシンジム、スタジオなどもある。会員以外も800円〜利用可能。

●タラソ福岡
福岡市東区箱崎7-10-58
☎092-631-1105
(貝塚駅より徒歩8分)



貝塚線を走る313形は、導入から60年を超えるレトロな電車。以前は大牟田線(現天神大牟田線)を走っていたが、現在は西鉄貝塚線で1編成のみが運行される。前面の2枚窓が愛嬌のある表情で人気がある。



英国の大学でアラビア語を教えていたナビさんは15年前に来日。イスラム教の教えに則りヒジャブをまとった奥様・美穂さんと二人できりもりしている。エジプトのスパイスに漬け込んだケパブや、野菜をトルティーヤ生地で作ったジャンボトーストラップセット(780円)は、その大きさとスパイスの香りに圧倒される。

●ハラールフードプラザ ナビさん
福岡市東区箱崎6-11-37
☎092-641-0200
(貝塚駅より徒歩8分)



東京やフランスでの修行を経て2010年に開業。瞬く間に行列の絶えない人気店に。パンは約60種あり、バゲットも常に粉や製法を変え、より美味しいパンを追求している。定番のルヴァン(320円)の他、明太フランス(300円)は瞬時に売り切れる幻の人気パンだ。

●pain stock (パンストック)
福岡市東区箱崎6-7-6
☎092-631-5007
(貝塚駅より徒歩8分)



珪瑯看板の企画・製作を専門に行う製作所。鉄に釉薬を塗り、シルクスクリーンで彩色するため、独特な表情が生まれる。店舗や会社の看板など1枚からでも注文でき、東京や京都からの注文も多いとか。個人向けの表札の場合、お値段は1枚あたり1万円から。

●原田珪瑯製作所
福岡市東区箱崎6-11-33
☎092-651-2347
(貝塚駅より徒歩8分)



Vol.43

貝塚駅

かいづかえき



新学期に新年度と新生活に胸躍るこの季節、駅前名物を探そう。旅もまた新路線でスタートです。福岡市東区の貝塚駅から西鉄新宮駅まで、西鉄貝塚線の旅の始まりです。九州大学箱崎キャンパスがある貝塚から副都心・香椎を抜け、潮風香る和臼、新宮まで、どんな名物と出会うのか、とても楽しみです。

駅×モト 貝塚駅



【所在地】福岡市東区箱崎7丁目
【乗降者数】12,523人(平成23年度/1日平均)
【開業日】1935(昭和10)年2月4日

貝塚駅周辺の情報はココでチェック!

タウンライターが沿線の情報をお届け!

西鉄沿線 検索



西鉄沿線 web
http://www.ensen24.jp/

が作る本場のカレーも味わえ、おかげで大満足のランチとなりました。最後は自分へのお土産にと、いつもたくさんのお客さんが訪れる人気の「パンストック」にパンを買いに行きました。ここは調理パンやバゲットなどのハード系のパンが中心で、冷凍して保存(ストック)しても美味しいのが特徴。ハード系のパンは外側はサクリなのに中はしっとりとして潤っています。シンプルなパンですが、噛めば噛むほど味わいが増す、そんなご飯のようなパンを毎日食べられたら、とつい大量に買ってしまいました。九州大学箱崎キャンパスを中心とした落ち着いた雰囲気のある街並み。貝塚駅周辺には、他ではなかなか出会えない魅力的な店や公園が点在していました。

そろそろお腹も空いたなと思ったところで、同じ通りにエジプト・インド料理の店「ナヒさん」という店がありました。オーナーはエジプト出身のナビさん。豚や酒を使わないイスラム法に則った料理「ハラール」が味わえます。安くて美味しいケバブサンドは留学生を中心に人気だそう。また、インド人シェフ

珪瑯看板の企画・製作を専門に行う製作所。鉄に釉薬を塗り、シルクスクリーンで彩色するため、独特な表情が生まれる。店舗や会社の看板など1枚からでも注文でき、東京や京都からの注文も多いとか。個人向けの表札の場合、お値段は1枚あたり1万円から。●原田珪瑯製作所 福岡市東区箱崎6-11-33 ☎092-651-2347 (貝塚駅より徒歩8分)

貝塚駅は、福岡市営地下鉄から西鉄貝塚線へスムーズに乗り換えができるようになった連結駅。通勤、通学時間帯には多くの乗降客で賑わいます。さて、駅を出るとすぐ目の前に貝塚交通公園があります。ここは1962年まで福岡競輪場があったところで、その跡地に子どもたちに交通ルールを学ぶ場として造られた公園だそう。中でも交通信号機や標識が設置されたコーカー場は子どもたちに大人気で、乗る前には簡単な交通安全講習もあり、まるで運転免許試験場のよう。九州大学箱崎キャンパスを横目に南へ向かうと、さまざまな看板が並ぶ建物が目に入りました。ここは珪瑯を使った看板やサインを手がける「原田珪瑯製作所」。創業は60年以上前で、交通標識の製作にはじまり、現在は店舗の看板のほか西鉄バス側面の広告看板なども作っています。大村崑さんのあの珪瑯看板も、こちらで製作していたとか。昭和の街角を彩った看板の数々は、ここで生まれていったんですね。